

セットアップ手順

以下の2種類のアップデートの適用が必要になります。

アップデート名	対象OS
I.クライアントシステム アップデート	Windows 10、11
II.サーバーシステム アップデート	Windows 10、11

1.スタンドアロン環境（データ、マスタも同じP C）

I、IIのアップデートを実行します。

2.クライアントサーバー環境（データ、マスタが異なるP C）

①クライアント環境でのセットアップ

Iのアップデートを実行します。

②サーバー環境でのセットアップ

IIのアップデートを実行します。

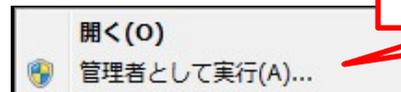
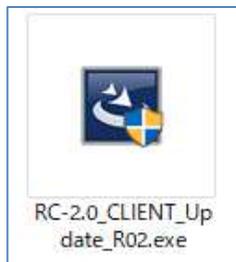
（注意）

- ・インストール時はシステム終了し、クライアントサーバー環境では、誰もログインしていない状態で実行してください。
- ・クライアントサーバー環境で、クライアント側だけインストールし、サーバー側をインストールしていない場合、クライアント側の操作時にエラー発生する場合があります。サーバー側もインストールしてください。

クライアントシステム アップデート

管理者権限のあるユーザーにてインストールしてください。

1. ダウンロードした「RC-2.0_CLIENT_Update_13.exe」を「管理者として実行」します。



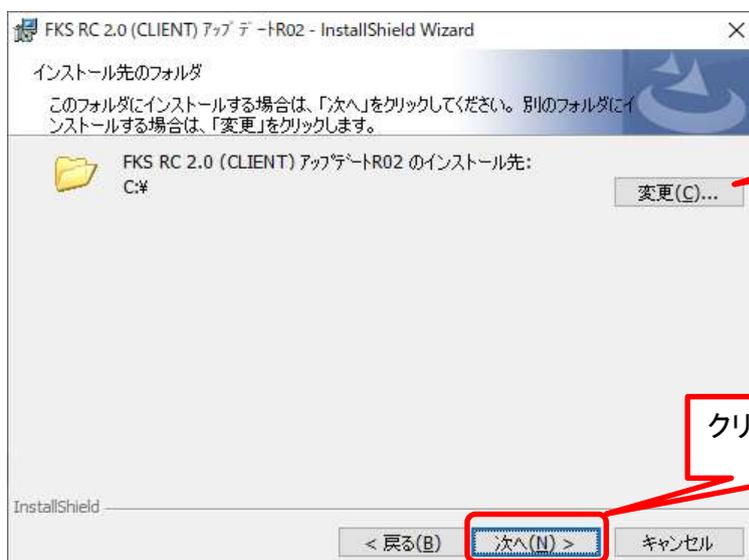
ファイルを選択し、右クリックメニューにて「管理者として実行」を選択します。

2. アップデート画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。



クリックします。

3. インストール先のフォルダ画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。



インストールドライブを変更する場合はクリックします。ドライブのみ変更可能です。

クリックします。

4. 「インストール」をクリックします。



以上で終了です。

FKS/RC 2.0 ソフトウェア修正情報

NO.	項目	内容	製品リビジョン				
			09	10	11	12-13	
36	階段計算	段筋の上端に本数、下端にピッチを入力した場合に、計算時に下端の本数が上端の本数になってしまう不具合を修正しました。	○				
37	床汎用計算	床汎用リストで行の切り取りや挿入を繰り返した場合に、鉄筋の計算が不正になる不具合を修正しました。	○				
38	システム	よくある質問の欄に、要望受付フォーム・ユーザ専用ページ・チャットボットへのリンクを追加しました。	○				
39	土工事	土工事の伏図で、基礎の「領域プロパティ」をOKしたときに、「GL-基礎下」の値がすべて「-1」になってしまう不具合を修正しました。	○				
40	BIM入力	ST-Bridge (Ver. 2.0) 入力に対応しました。	○				
41	帳票	「計算書を出力しない」設定にしている場合でも、「範囲指定」にチェックを入れるとエラーメッセージが表示されてしまう問題を修正しました。		○			
42	梁計算	計算条件にて「定着プレートの主筋材種を別材種に置き換える」かつ「端部のみ別材種に置き換える」設定の場合に定着プレートの倍数が0になる不具合を修正しました。		○			
43	外部入出力	SQLSERVER2022の環境からSQLSERVER2014の環境に物件をエクスポート・インポートする機能を追加しました。		○			
44	壁スリット計算書	鉄筋計測なしの場合に、スリット厚が計算されない不具合を修正しました。			○		
45	計算書	耐圧版における基礎取り合いの個所数が正しく計上されない不具合を修正しました。			○		
46	部位階記号別チェック表	床計算において、同一通りに複数の拾いデータが存在する場合、台数が正しく計上されないことがある不具合を修正しました。			○		
47	断面リスト	連続基礎リストのスターラップSW指示、および床リストの受筋コンボボックスで選択をクリアできるように修正しました。			○		
48	小口型枠	壁・地下壁の接続部位が「BW (地下壁)」「FG (基礎大梁)」「FB (基礎小梁)」の場合の時に、小口型枠が「W (壁)」「G (大梁)」「B (小梁)」から引かれてしまう不具合を修正しました。			○		
49	鉄骨計算書	躯体区分ごとの出力が正しく行われぬ不具合を修正しました。			○		
50	増し打ち計算	伏図において、梁・柱プロパティの増し打ち鉄筋に入力がある場合、基準の最小厚を考慮せずに計算される不具合を修正しました。			○		
51	土工事伏図取込	埋戻しレベルを設定した時に、盛土合計の記号がNZとなる問題を修正しました。				○	
52	土工事伏図取込	埋戻しレベルがGLより上の場合に、土間床下の盛土の高さから埋戻し高さが引かれる問題を修正しました。				○	
53	土工事	捨コンクリートがない部位の合計が、止め型枠の計算式に設定される問題を修正しました。				○	
54	土工事計算	総掘下の根切をした場合に、GL-基礎下の深さで計算をされる問題を修正しました。				○	
55	土工事伏図取込	埋戻しレベルを設定した時に、盛土合計で使用されていないUSを参照する問題を修正しました。				○	
56	雑拾い	雑拾い画面の上部ガイダンス4-6壁メッシュを4-6床メッシュに修正しました。				○	
57	外部入出力	SQLSERVER2022の環境からSQLSERVER2014の環境に物件をインポートした際に、「,」が含まれるデータでエラーとなる問題を修正しました。				○	
58	土工事拾い	FromToにEnterでセル移動したあとに下カーソルキーを入力すると9999になってしまう問題を修正しました。				○	
59	物件比較	物件比較機能を追加しました。				○	

※ 上記○印がお使いの製品バージョンによって発生する現象になります。

製品バージョンは、プロジェクト・物件一覧画面のオプションより確認することができます。



インストール後は、2.0.0.13になります。

※ 今回の修正版をインストール後、上記現象に該当する物件を再計算すると、前回の結果と異なった数量が算出される場合があります。